

1. 本県周辺海域の概況(図1, 8/9現在)

- ・黒潮の流型は、蛇行型のB型で推移しています。黒潮本流は、7月中旬まで犬吠埼を接岸傾向のまま北東に流去していましたが、現在の黒潮は犬吠埼を大きく離岸(黒潮流軸まで120マイル)して北北東～北東に流去しています。
- ・親潮第一分枝の先端位置は、北緯39.5° 東経143.5° 付近(岩手県沖)にあります。親潮の面積は平年並です。三陸北部～常磐北部の下層では冷水域(平年偏差-4~-1°C)が広がっています。
- ・7月下旬より本県海域の広い範囲で暖水が波及しています

2. 海洋観測結果(8/5~7:調査船「いばらき丸」)

- ・水平水温図(水温, 前月差, 平年偏差)を図2~9に示しました。また, 各定線の鉛直水温図を図10~13に, 会瀬・鹿島定線の鉛直水温図(前月差, 平年偏差)を図14~17に示しました。表面水温は, 会瀬沖で24.7~26.7°C, 大洗沖で24.1~27.5°C, 鹿島沖で24.7~26.9°C, 犬吠埼沖で24.9~26.6°Cでした(図2)。
- ・前月と比べると, 暖水波及の影響により, 広い範囲で昇温しました。特に会瀬・大洗・鹿島定線では, 5°C以上昇温した海域が広がっています。一方, 大洗・鹿島・犬吠埼定線の沖合下層の一部では, 黒潮流路が変動した影響により降温(-3~-1°C)しました(図6~7, 図14~15)。
- ・平年と比べると, 表層・下層ともほぼ全域で「高め基調」となっています。特に会瀬・大洗・鹿島定線では「極めて高め(平年偏差+4°C以上)」の海域が広がっています(図8~9, 図16~17)。

3. 今後の1カ月の見通し

- ・黒潮流型はB型からC型に移行するでしょう。今後, 本県沖での黒潮流路は北東～東方で大きく変動するでしょう。
- ・親潮の面積は平年並で推移し, 親潮第一分枝の先端は北緯40° 東経147° 付近(岩手県沖)まで後退するとみられます。但し, 三陸北部～常磐北部の下層では冷水域が広がっていることから, 今後本県海域まで冷水が南下する可能性があります。
- ・水温を平年と比べると, 暖水波及の影響が残り, 本県海域全域で「高め基調」で推移するでしょう。

